

スポーツ推進委員協議会だより

宮崎市スポーツ推進委員協議会

第60回 全国スポーツ推進委員研究協議会

11月14・15日（木・金） 三重県津市

《全国大会の報告と表彰の御礼》

● 「スポーツ・イン・ライフを目指して」をテーマに開催されました。国は、“総合型スポーツクラブ、地域のスポーツ団体等との連携・協働を促進する人材を育てる研修”を支援する事で、資質向上を図るとしています。協議会としても、この機会にぜひこの制度を活用していきましょう。



● この度の文部科学大臣表彰は、身に余る光栄であり、徳勝龍関と同じく「私でいいのかな」との思いです。体育指導委員、スポーツ推進委員として、皆様に、そして地域の方々に支えられ38年目になりました。皆様方のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

また、最大の喜びは、多くの仲間と友達を得られたことです。これからも、変わらぬご指導をお願い致します。
(山本幸徳会長)

第8回 地区対抗ビーチボールバレー大会

11月24日（日）

宮崎市総合体育館



何でも引き受けてしまうのが僕の悪い癖。頼りない班長を温かい目で見守って下さり、ありがとうございました。選手の皆さんの白熱したプレーを見てみると、スポーツってやっぱりいいなあと思いました。しかし、参加チームの減少や、競技者が広がっていかないなどの、多くの課題も見えてきました。既存のやり方に捉われることなく、みんなでアイデアを出し合って、スポーツ人口の拡大を目指していけたらと思います。(前田)

【各部門優勝チーム】

- 平均年齢39歳以下 1位グループ
優勝 花ヶ島 (東大宮)
準優勝 あさひ (中央)
- 平均年齢40歳以上 1位グループ
優勝 宿森 (住吉)
準優勝 柳丸 (江平)
- 平均年齢60歳以上 1位グループ
優勝 田野東A (田野)
準優勝 田野中央B (田野)

★ 参加者数 162名
★ 参加チーム数 34チーム



☆≡ おめでとうございます!!

第59回 宮崎県スポーツ推進委員研究協議会

11月30日・12月1日（土・日）

都城市・三股町

《～みんながスポーツ1130 すこやか人生



はじめに、開会行事と表彰式があり、宮崎市からは、功労者として合谷希代子さんと長友ひとみさんが表彰されました。

次にアトラクションがあり、中学生が素晴らしくキレのあるエアロビクスダンスを披露してくれました。一緒に小学生や幼児も踊り可愛く癒してくれました。その後、熊襲踊り保存会による厳かな中にもユーモラスな踊りで、会場から笑いが出ていました。こちらも大人に混じり小学生が頑張っていました。

次に「自転車競技と生涯スポーツ推進」を演題に、都城工業高校教諭自転車競技部顧問、大庭伸也さんの基調講演がありました。指導者としての苦勞と、今の宮崎の自転車競技の現状を話していただきました。

その後、「平成30年度全国スポーツ推進リーダー養成講習会」の受講報告を、高鍋町の田中さん、延岡の芝村さんが、漫才のような楽しいコンビで面白く報告してくれました。

最後に、掲示物コンテストの結果が発表され、宮崎市・都城市・小林市が優秀賞に選ばれました。



功労者表彰
合谷希代子さん（右）
長友ひとみさん（左）

2日目は2ヶ所に分かれ、第1分科会は、「みまたんピック」。第2分科会は、ガラッキーとトランポリン実技講習でしたが、つつい勝負を意識して力が入ってしまいました。

ガラッキーは、“ダーマ”というボーリングのピンを柔らかくしたものを投げて、自分たちのダーマでいかに相手を囲み込むことができるかで、頭を使うゲームでした。

トランポリンは、とにかく楽しく体を動かして、終わったらみんな「トランポリンが欲しい！」と言っていました。充実した研究大会でした。（児玉）



初めての体験“ガラッ



1人用のトランポリン、楽しい！



第1回 例会

12月14日（土） 宮崎市教育情報研修センター

山本会長の挨拶の後、住吉・大宮・瓜生野地区の活動報告がありました。

住吉地区は、自治会対抗のゴルフ大会やボーリング大会、昨年からはソフトバレー大会も開催し、地域住民がスポーツに取り組む機会を数多く提供していることに驚きました。

瓜生野地区は、ミニバレー・ソフトボール・駅伝など、各地区の体育委員が専門部に分かれていて、それぞれの大会の企画運営に携わるとのことでした。推進委員だけでなく、地域のみなどで力を合わせて作り上げている大会なので大いに盛り上がることと思います。

大宮地区は、まちづくり推進委員会との連携が強く、共催で「大運動会」を行っています。ミニバレーボール愛好者で、長く続けられる方が多いので年齢枠を増やしてほしいとの要望があるようです。

3地区の発表の後は、グループに分かれて意見交換を行いました。他地区の活動を聞く機会が少ないので、どのグループも活発にディスカッションされていました。



第36回 地区対抗駅伝競走大会

1月19日（日） 宮崎臨海公園サンビーチーッ葉



準備等の関係で、7時半の集合時間よりも早目に行きました。日が昇る前に到着し、私は今年初の“日の出”を拝むことができました。（年明けだいふ経ちましたが）快晴で風もほとんどなく、絶好の駅伝日和でした。しかし、この時期は毎年インフルエンザが流行していて、選手も役員も当日までハラハラします。何とか代わりの選手を見つけられた地区もあれば、残念ながら見つからずに、危険したチームもありました。

駅伝は、家族はもちろん地区の方の応援も多く、特にゴール地点は大いに盛り上がりします。その一方で、他の競技と比べると参加地区が少ないのが課題です。全地区が、参加できるような競技を考えるのも必要なのではと感じました。（広報部 長友）

参加地区は11地区、男子13チーム、女子11チーム。

※地区によっては、少年団やアスリートクラブ等があり、参加チームに偏りがあります。

男子

1位 佐土原A・・・39分18秒
2位 大 淀・・・39分59秒
3位 大宮A・・・40分15秒

女子

1位 大宮A・・・47分54秒
2位 大 淀・・・48分19秒
3位 佐土原A・・・48分35秒



【1日目】

約2,300名が参加し「スポーツを核としたまちづくり」を大会テーマに、スポーツ振興上の課題及び実践活動の成果について研究協議が行われた。

『特別講演』講師古賀塾塾長 古賀稔氏「テーマ：人生の教科書」と題し、司会者や参加者の質問に答える形で進行された。

古賀氏の指導者としての心構え、指導法は、講道館創設者加納治五郎の理念「精力善用」（心身の持つすべての力を最大限に生かして、社会の為に良い方向に用いる）・「自他共栄」（相手に対して敬い、感謝することで信頼し合い、助け合う心を育み、自分だけでなく他人とともに栄えある世の中にしよとすることを基本としている。

- ・まず、やさしい人になりなさいと教える
- ・出来ない子供⇒どういう言葉をかけてあげたらよいか考える。出来たら子ども本人の努力として褒めてあげる。
- ・心の器を大きく持って考える⇒相手の数だけ一人一人の目標や夢を知って指導する。(人は変わる)
- ・悪い結果が出た時⇒自分の指導を振り返り、反省する。相手(対象者)と一緒にどういった考えで取り組んでいたか、その時の気持ちを聞いてやる。普段の良い所を褒めてやる事も大事。
- ・目の前の目標と課題をしっかりと確実にクリアしていく。
- ・他の人の為に⇒恩返しにつながる。自分の為だけではない、誰かの為にと思えると頑張れる。喜んでもらいたいと思えば、困難に立ち向かい、乗り越えられる。
- ・努力には、
 - ①やらされる努力(命令されてやる)⇒身につかない。あきらめる。
 - ②望む努力(自発的)⇒やればやるだけ身につく。もっと頑張れる。
- ・指導者自身が勉強し、努力することが大切である。
- ※オリンピックゴールドメダリストだが、偉ぶらず、ユーモアや笑いもあり、飽きることなく短く感じた講演であった。



【2日目】

『基調提案』長崎国際大学准教授 宮良俊行氏

「スポーツを核としたまちづくり」

- ・現代のスポーツは「する」「みる」「支える」こと
- ・スポーツの不思議な力 スポーツは人と人とを結びつける力がある。
- ・地域でスポーツを支えている人たち
コミュニティ形成に大きく影響を与え、関わっている。
人づくり・地域づくり・まちづくり
- ※宮良氏のスポーツとは、スポーツを通じて、たくさんの「笑顔」と「ありがとう」を集めたい。(本部)



(右)九州地区スポーツ推進委員功労者表彰
杉元 雅代さん

第3回 自主研修

2月1日(土)

西部地区農村環境改善センター



今年度3回目となる自主研修は、2月22日に開催される、ニュースポーツ大会のムズな運営を図るためと、新しい競技の体験を兼ねて実施されました。また、大会に参加される皆さんに、ニュースポーツを体験してもらうのはもちろんですが、地域の枠を超えて交流を深めてもらうにはどうしたらよいか実際に体験してもらうという研修でした。

体験したニュースポーツは、スカットボール、ガラッキー、楽ビーの三種類でした。それぞれのルールや、点数のつけ方、運営に必要な人数などを確認しました。

楽ビーは、昨年ラグビーワールドカップも開催され盛り上がりを見せたことから、取り入れました。様々な角度からゴールポストの間に、ラグビーボールを蹴り入れるもので、3種類のボールを使用して見て、どのボールが適切かを判断しました。

今回初めて行ったガラッキーと楽ビーは、委員もなじみがないので、楽しんで研修できたのではないのでしょうか。

この研修のおかげで、ニュースポーツ大会は大成功間違いなしでしょう！(井上)



スポーツ推進委員としての資質向上を図り、委員相互の情報交換の場とすることで、県内各地域のスポーツ推進を、より充実させることを目的に研修会が実施されました。

午前中は、リーダー研修会に参加した南部地区スポーツ推進委員(都城、小林、日南市、高原町)の6人が、どのようにやる気の変化し、どのような活動をしているかの話がありました。その他、推進委員の歴史・法的位置づけ・資質と役割、活動をして思うこと、全国でも宮崎は女性推進委員の割合が高い等の話がありました。

午後からは、場所を主道場に変え、小林市・えびの市・高原町スポーツ推進委員の指導で、ニチレクボール(室内ペタンク)、スポーツ吹矢、インディアカの3種目を楽しく体験しました。対戦なので、つつい勝ち負けにこだわってしまいました。吹矢は、ことのほかの中心に当たり集中できました。インディアカは、ソフトバレーボールのルールと類似していて、バトミントンの羽を大きくして底を平らにしたボールを、片手の手の平で打って返すもので、難しかったです。しかし、さすがみんなスポーツ推進委員!終わる頃にはすっかり習得していました。有意義な一日を過ごせました。(児玉)



第4回 地区交流ニュースポーツ大会 2月22日(土)

北部記念体育館

20チームが参加し、カローリング・ラダーゲッター・輪投げ・ディスクゲッター9・スカットボールの5種目で点数を競い、楽be! ゴールキック・ポッチャは、体験のみでしたが、全部で7種目のニュースポーツを楽しんでもらいました。

楽be! ゴールキックは、ラグビーを文字でネーミングしたもので、この大会に向けて班員で考えた競技で、参加者からも大人気でした。

ニュースポーツは、年齢に関係なく誰でも楽しめるので、三世代交流ができ、和気あいあいと楽しい大会になったと思います。

何度も班会を重ね入念に準備をしてくれた班員の皆さん、富永班長大変お疲れさまでした。

できれば参加チームをもう少し増やし、スポーツが苦手な人でも簡単にできるニュースポーツを、もっともっと地域に広めていければと思います。(山元)



- 【成績】 1位 あおきB (檜)**
 2位 上富吉さんさんクラブ (生目)
 3位 住吉チーム (住吉)
 4位 チーム谷口 (東大宮)
 5位 チーム杉元 (東大宮)
 特別賞 あおきA
 (楽be! ゴールキック1位)



広報部よい



今年度も3回の広報誌発行と、紹介パネル作成を行いました。広報部会では、持ち寄った原稿の校正作業から始まり、時には協議会のあり方や事業内容についても熱く語り合いました。ご協力いただきました推進委員のみなさん、ありがとうございました。来年度も、推進委員の活動等わかりやすくお知らせしていけるよう頑張ります!



宮崎市スポーツ推進委員協議会の紹介パネルと広報部長・副部長 山元&長友

広報スタッフ～部長：山元美保(檜) 副部長 長友ひとみ(江平) 担当副会長：井上竜志(大淀)
 本部伴典(檜) 栗原和幸(大宮) 児玉麻衣子(住吉) 前田明人(木花)
 福田貴夫(清武)